



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月4日

上場会社名 文化シャッター株式会社

上場取引所 東

コード番号 5930 URL <https://www.bunka-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 博之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日 2023年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	45,477	16.3	323		777		297	
2023年3月期第1四半期	39,117	5.4	101		101		388	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 673百万円 (867.3%) 2023年3月期第1四半期 69百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	4.85	4.18
2023年3月期第1四半期	5.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	189,587	82,157	43.2
2023年3月期	177,246	82,776	46.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 81,980百万円 2023年3月期 82,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		21.00		21.00	42.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		21.00		21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	93,000	7.4	2,200	14.9	1,800	35.3	800	57.2	13.06
通期	211,000	5.9	10,700	10.5	10,800	8.1	7,000	11.4	114.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	72,196,487 株	2023年3月期	72,196,487 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	10,936,745 株	2023年3月期	10,936,697 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	61,259,754 株	2023年3月期1Q	67,174,505 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数(四半期累計)の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資材・エネルギー価格の高騰による影響があったものの、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げによる経済活動の正常化に伴い、景気は緩やかな持ち直しの動きが続いております。

一方で、為替の変動や世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れがわが国経済を下押しするリスクとなっており、物価の上昇や供給面での制約など、先行きの見通せない状況で推移しております。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、民間設備投資は緩やかながら増加基調にあり、建設需要は底堅さを維持しているものの、鋼材をはじめとした原材料価格・エネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、45,477百万円（前年同四半期比16.3%増）となりました。利益面におきましても、原材料価格上昇分等の販売価格への反映及び利益率の向上並びにコスト削減など当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組みました結果、営業利益は323百万円（前年同四半期は営業損失101百万円）、経常利益は777百万円（前年同四半期は経常損失101百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は297百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失388百万円）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

1. シャッター関連製品事業

大型物流倉庫向けの重量シャッター等が堅調に推移しましたので、当第1四半期連結累計期間の売上高は18,797百万円（前年同四半期比18.9%増）となりましたが、企業買収に係る費用等を計上しました結果、営業利益は513百万円（前年同四半期比40.4%減）となりました。

2. 建材関連製品事業

大型商業施設向けのスチールドア等が堅調に推移しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18,188百万円（前年同四半期比18.6%増）となり、営業利益は394百万円（前年同四半期は営業損失287百万円）となりました。

3. サービス事業

緊急修理対応及び定期保守メンテナンス契約等が好調に推移しました結果、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,778百万円（前年同四半期比4.7%増）となり、営業利益は597百万円（前年同四半期比32.6%増）となりました。

4. リフォーム事業

ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業及び住宅用リフォーム事業に注力しており、連結子会社B Xゆとりフォーム株式会社を中心に、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,396百万円（前年同四半期比13.4%増）となり、営業利益は7百万円（前年同四半期は営業損失50百万円）となりました。

5. その他

産業用の太陽光発電システム等が堅調に推移しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,316百万円（前年同四半期比7.4%増）となり、営業利益は136百万円（前年同四半期比33.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は189,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,340百万円増加しました。流動資産は119,332百万円となり、11,702百万円増加しました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が減少(7,376百万円)した一方で、現金及び預金が増加(13,969百万円)、商品及び製品が増加(2,768百万円)、流動資産のその他が増加(1,448百万円)したことが主な要因であります。固定資産は70,255百万円となり、638百万円増加しました。これは、投資その他の資産のその他が減少(268百万円)、無形固定資産のその他が減少(97百万円)、のれんが減少(72百万円)した一方で、投資有価証券が増加(918百万円)、建物及び構築物が増加(170百万円)したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は107,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,959百万円増加しました。流動負債は84,572百万円となり、12,832百万円増加しました。これは、支払手形及び買掛金が減少(2,101百万円)、賞与引当金が減少(1,956百万円)、未払法人税等が減少(1,110百万円)した一方で、短期借入金が増加(14,980百万円)、流動負債のその他が増加(2,497百万円)したことが主な要因であります。固定負債は22,857百万円となり、127百万円増加しました。これは、役員退職慰労引当金が減少(25百万円)、固定負債のその他が減少(24百万円)した一方で、退職給付に係る負債が増加(179百万円)したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は82,157百万円となり、前連結会計年度末に比べ619百万円減少しました。これは、その他有価証券評価差額金が増加(851百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加(297百万円)した一方で、配当金の支払いにより減少(1,293百万円)、為替換算調整勘定が減少(447百万円)したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,405	45,374
受取手形、売掛金及び契約資産	45,290	37,914
電子記録債権	8,267	8,466
商品及び製品	9,768	12,536
仕掛品	1,862	2,077
原材料及び貯蔵品	7,444	7,925
その他	3,753	5,201
貸倒引当金	△162	△163
流動資産合計	107,629	119,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,631	11,802
土地	12,616	12,656
その他(純額)	10,543	10,490
有形固定資産合計	34,791	34,949
無形固定資産		
のれん	4,259	4,187
その他	4,330	4,233
無形固定資産合計	8,590	8,420
投資その他の資産		
投資有価証券	16,117	17,035
退職給付に係る資産	1,751	1,761
その他	8,606	8,338
貸倒引当金	△241	△250
投資その他の資産合計	26,234	26,884
固定資産合計	69,616	70,255
資産合計	177,246	189,587

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,825	16,724
電子記録債務	21,217	21,864
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	9,540	9,540
短期借入金	1,498	16,478
未払法人税等	1,659	549
賞与引当金	4,043	2,086
役員賞与引当金	136	47
工事損失引当金	341	306
その他	14,477	16,974
流動負債合計	71,739	84,572
固定負債		
長期借入金	24	20
役員退職慰労引当金	256	231
役員株式給付引当金	34	36
退職給付に係る負債	17,744	17,924
資産除去債務	53	53
その他	4,616	4,591
固定負債合計	22,730	22,857
負債合計	94,469	107,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	12,280	12,279
利益剰余金	62,699	61,703
自己株式	△11,654	△11,654
株主資本合計	78,377	77,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,675	3,526
土地再評価差額金	△46	△46
為替換算調整勘定	543	95
退職給付に係る調整累計額	1,051	1,024
その他の包括利益累計額合計	4,224	4,600
非支配株主持分	174	176
純資産合計	82,776	82,157
負債純資産合計	177,246	189,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	39,117	45,477
売上原価	29,487	34,326
売上総利益	9,629	11,151
販売費及び一般管理費	9,731	10,827
営業利益又は営業損失(△)	△101	323
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	154	146
為替差益	214	488
その他	78	184
営業外収益合計	451	827
営業外費用		
支払利息	51	57
持分法による投資損失	372	273
その他	26	42
営業外費用合計	450	373
経常利益又は経常損失(△)	△101	777
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産除却損	5	12
特別損失合計	5	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△106	771
法人税等	281	473
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△387	297
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△388	297

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△387	297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△332	807
為替換算調整勘定	610	△489
退職給付に係る調整額	△38	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	216	91
その他の包括利益合計	457	375
四半期包括利益	69	673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68	673
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シヤッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	15,803	15,338	5,518	1,231	37,891	1,225	39,117	—	39,117
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,803	15,338	5,518	1,231	37,891	1,225	39,117	—	39,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,131	8	93	—	1,233	250	1,484	△1,484	—
計	16,935	15,347	5,611	1,231	39,125	1,475	40,601	△1,484	39,117
セグメント利益又は損失(△)	861	△287	450	△50	974	101	1,076	△1,177	△101

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,177百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,175百万円、棚卸資産の調整額△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	18,797	18,188	5,778	1,396	44,161	1,316	45,477	—	45,477
その他の収 益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客 への売上高	18,797	18,188	5,778	1,396	44,161	1,316	45,477	—	45,477
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	1,138	10	100	0	1,251	230	1,482	△1,482	—
計	19,935	18,199	5,879	1,397	45,412	1,547	46,959	△1,482	45,477
セグメント利 益	513	394	597	7	1,512	136	1,648	△1,324	323

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,324百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,324百万円、棚卸資産の調整額△0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。